

「第四期 和歌山県文化芸術振興基本計画(案)」に対する御意見と県の考え方

【募集期間】令和8年2月9日(月)から令和8年3月10日(火)

【募集結果】1名2件

番号	御意見の概要	御意見に対する県の考え方
1	<p>「1 文化芸術活動の振興」内、主な施策の中に「アーツカウンシルの部局立ち上げ」が入っていてほしい。</p> <p>何かの文化活動を始めたいと思った時に、拠点となる文化施設に、相談窓口のようなものを作ってほしい。</p> <p>他部署との連携で、フィルムコミッションを挙げているが、県立図書館メディアアートホールが映画上映等も行っていくのであれば、フィルムコミッションが対応する広告、ドラマ、商業映画ではない、学生の映画制作或いは県民の創作活動としての自主映画等の相談等、音楽・演劇等の文化活動の支援も行っていくといった施策を盛り込んでほしい。</p>	<p>現在、和歌山県民文化会館において、県の文化振興事業委託先である(一財)和歌山県文化振興財団が、事業企画・舞台演出等の専門知識を活かして、文化芸術活動に係る御相談やアドバイス等を行う窓口を設置しています。</p> <p>また、県では、県民の皆様の文化芸術活動に要する経費の一部を助成する「和歌山県文化振興事業補助金」を設置し支援するとともに、国やその他公的団体、民間企業等の助成制度による支援が受けられるよう、制度紹介、相談、公募要項等の配布も行っております。</p> <p>引き続き、県及び(一財)和歌山県文化振興財団が協力して、県民の皆様や県内文化団体の自主的かつ主体的な文化芸術活動の促進に努めてまいります。</p>
2	<p>素晴らしい歴史・景観を有する和歌山県において、アーティストインレジデンス事業を県主導で行ってほしい(文化庁のアーティストインレジデンス型地域協働支援事業の活用等)。様々なアーティストが来て創作活動を行う、そういう県になってほしい。</p>	<p>文化財・景観等を含めた様々な県内文化資源は、地域ブランドを高める大切な資源です。</p> <p>現在、県では、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全・活用や、県立博物館施設における展覧会開催、体験型観光「ほんまもん体験」の推進等、県内の優れた文化資源の保全・活用等に取り組んでいます。</p> <p>また、文化資源の公開施設やまちづくり団体、交通事業者等、多様な地元関係者と連携し、県立博物館施設を拠点として、様々な文化資源の魅力に触れる体験型の文化観光を推進することで、文化振興と観光振興、地域活性化の持続的な好循環を実現し、ひいては、様々なアーティストが創作活動を行い活気ある県となるよう努めてまいります。</p>